

植物多様性センターの「学習園の地衣類」

地衣類はコケという名はつきますが、菌類と藻類の共生体です。形状から、平たい葉状地衣類、木の枝のような樹枝状地衣類、樹幹や岩に固着した痂状地衣類に分類されます。地衣類は、藻類と共生しているため寒い冬にも生育が旺盛です。学習園の中で、園路沿いの溶岩や縁石などの上で見られる、観察がしやすい伊豆諸島ゾーンの地衣類をご紹介します。小さいので、ルーペ（貸出しあり）での観察をお勧めします。



ヤマトキゴケ:溶岩に生える樹枝状地衣類 褐色の子器(円内)



ヒメジョウゴゴケ:名前の通り小さな漏斗型の子器をつける



ハナゴケ科の1種:まだ子器をつけていない樹枝状地衣類



ツブダイダイゴケ:コンクリートの縁石上の痂状地衣類